

臨床検体から分離された小型コロニー変種 Small-colony variants (SCVs) の遺伝子解析、これら SCVs 株に対する細菌検査法の検討

1. 研究の対象

2014年1月1日から2020年12月31日の期間中、当院の細菌培養検査によって検出された SCVs 株 計8株

2. 研究目的・方法

SCVs 株は、正常型と比べ非典型的な発育を示すため、日常の定型的な細菌検査では、見落としや誤同定、薬剤感受性結果の誤りにつながる可能性がある。①当院で検出された SCVs 株について、遺伝子解析を実施し、SCVs の性質をもつようになった原因を解明する。②日常検査において、どのような点に注意して検査を行えば、見落としを 방지、正確な同定、薬剤感受性結果が得られるか、検討する。

研究期間：倫理申請許可日 ～ 2022年12月31日

3. 研究に用いる情報の種類

以下の臨床情報を診療録より取得します。

SCVs 株が検出された患者さんの年齢、性別、抗菌薬使用歴、その他各種検査データ（血液検査、細菌検査）等

4. 外部への試料・情報の提供

①SCVs 株の遺伝子解析のため、菌株を外部機関に委託します。

②研究成果の学会、論文などにおける発表に際しては、SCVs 株が検出された患者さんの個人情報が入院外に漏れることが無いように十分に配慮します。

5. 研究組織

長野市民病院 臨床検査科

6. お問い合わせ先

本研究に関する質問や確認のご依頼は、下記へご連絡ください。

また、本研究の対象となる方またはその代理人より、情報の利用の停止を求める旨のお申し出があった場合は、適切な措置を行いますので、その場合も下記へのご連絡をお願い致します。尚、研究不参加を申し出られた場合でも、不利益を受けることはありません。ただし、お申し出をいただいた時点ですでに研究結果が学会、論文などで公表されていた場合等には結果を破棄できないこともあり、引き続き使わせていただくことがあります。